

管 理 会 計 論

本試験

**問題 1** 次の記述のうち、我が国の「原価計算基準」に照らして正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。(5 点)

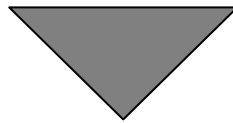
～ 略 ～

イ. 原価の費目別計算とは、一定期間における原価要素を費目別に分類測定する手続をいう。費目別計算においては、原価要素を、原則として、機能別分類を基礎とし、これを直接費と間接費とに大別し、さらに必要に応じ形態別分類を加味して分類する。

《解答 1》

イ. 誤 原価計算基準一〇参照。

誤った記述である。費目別計算においては、原価要素を、原則として、「形態別分類」を基礎とし、これを直接費と間接費とに大別し、さらに必要に応じ「機能別分類」を加味して分類する。



短答ポイントアップ答練 第 4 回

**問題 3** 次の記述のうち、我が国の「原価計算基準」に照らして正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。(5 点)

～ 略 ～

イ. 製造部門とは、直接製造作業の行なわれる部門をいい、製品の種類別、製品生成の段階、製造活動の種類別等にしたがって、これを各種の部門又は工程に分ける。副産物の加工、包装品の製造等を行なういわゆる副経営は、これを製造部門とする。

《解答 3》

イ. 正 「原価計算基準」一六参照。

本肢の記述は正しい。製造部門は、資源の消費状況を正確に反映するために、製品製造の流れに沿って、基本的に異なる業務活動を職種別に区分して設定することが求められる。また、直接製造作業の行なわれる部門を製造部門と定義するのであるから、事業の目的とする製品ではない副産物の加工や包装品の製造を行う部門(副経営)であっても、それは製造部門に含まれる。